

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・7月予測） ～低水準ながら前月比プラスに反転

2020年7月2日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）¹を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）²を DATASALAD にて公表している。本稿では、6月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2020年7月の予測 CI を解説する。

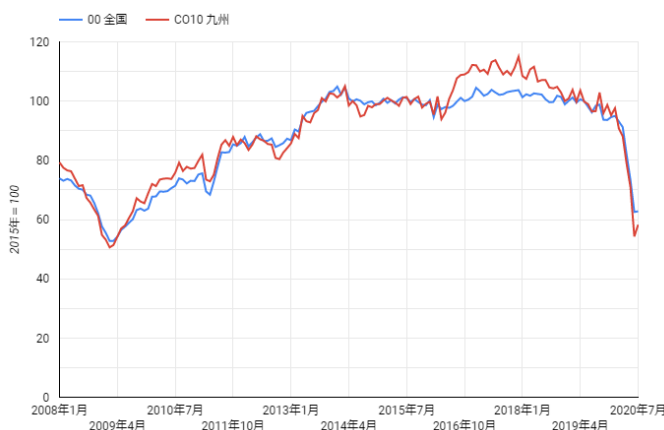
2020年7月の九州7県の予測 CI：低い水準ながら前月比プラス

2020年7月における九州7県の予測 CI は前月比+7.3%の58.3となり、6カ月ぶりにプラスとなった。前月は統計開始の2008年1月以降で2番目に大きい低下幅を記録したが、九州の景気は前月の6月を底に改善に向かうとみられる。

なお、全国は前月比+0.3%の62.8となり、6カ月ぶりにプラスとなった。全国は九州より高い水準にあるが、前月比の増加幅は九州に比べて小さい。

都道府県 CI、予測 CI は、景気の水準とともに、景気の拡大・後退のスピードを把握することができる。新型コロナウイルス感染拡大による「コロナショック」により、景気の水準はリーマンショックに迫る水準まで悪化しているが、6月を底に改善する可能性が示された。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2020年4月までは実績値（都道府県 CI）、5～7月は予測 CI

注2) 2020年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

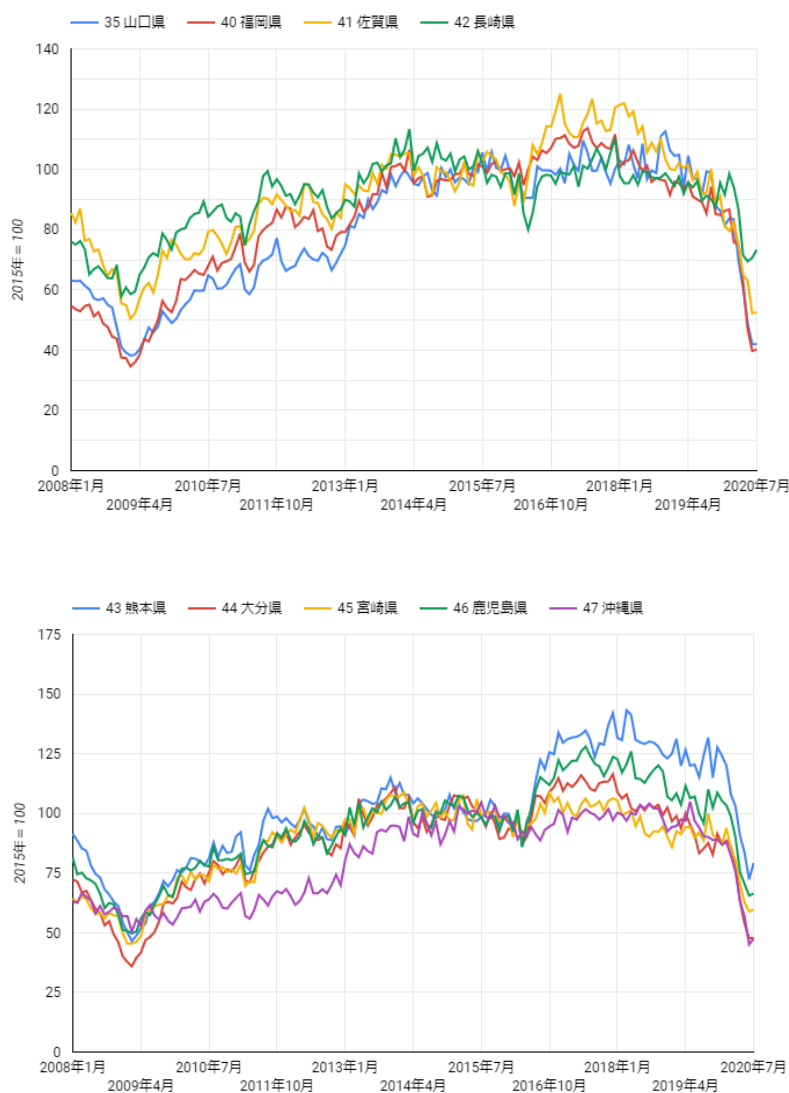
2020年7月の九州地域の予測 CI：全県で改善

2020年7月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測 CI を県別にみると、全ての県で前月比プラスとなった。前月比の増加率は、熊本県（前月比+9.5%）、沖縄県（同+5.5%）、長崎県（同+3.8%）の順で高い。

7月は消費分野、雇用分野、生産分野のいずれも前月比プラスに寄与するとみられる。特に緊急事態宣言解除による消費マインドと新規求人件数の改善から消費分野、雇用分野の説明変数がプラスに寄与している。

松嶋 慶祐（事業開発部 主任研究員）

図2 都道府県 CI、予測 CI（県別）



注1) 2020年4月までは実績値（都道府県 CI）、5～7月は予測 CI

注2) 2020年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2020年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	2020年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	93.1	91.2	82.0	73.4	62.6	62.8	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 10.1	▲ 10.5	▲ 14.7	0.3
九州7県	90.7	88.1	78.9	70.9	54.3	58.3	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 10.4	▲ 10.1	▲ 23.4	7.3
山口県	83.4	69.7	60.6	48.9	42.0	42.0	▲ 0.4	▲ 16.4	▲ 13.1	▲ 19.3	▲ 14.2	0.1
福岡県	75.8	75.0	62.7	47.1	39.7	40.2	▲ 12.6	▲ 1.1	▲ 16.4	▲ 24.9	▲ 15.6	1.1
佐賀県	82.4	74.9	64.9	63.2	52.3	52.5	3.5	▲ 9.1	▲ 13.4	▲ 2.7	▲ 17.3	0.5
長崎県	94.0	86.8	71.5	69.5	70.6	73.3	▲ 4.6	▲ 7.7	▲ 17.6	▲ 2.9	1.7	3.8
熊本県	107.9	102.9	90.7	83.5	72.3	79.2	▲ 10.2	▲ 4.6	▲ 11.9	▲ 8.0	▲ 13.4	9.5
大分県	86.0	78.0	62.9	53.8	47.7	47.8	▲ 2.9	▲ 9.3	▲ 19.4	▲ 14.4	▲ 11.4	0.2
宮崎県	85.1	80.4	70.6	62.7	58.9	59.6	▲ 9.4	▲ 5.5	▲ 12.2	▲ 11.2	▲ 6.0	1.2
鹿児島県	98.6	90.0	75.4	70.4	65.6	66.4	▲ 4.6	▲ 8.7	▲ 16.2	▲ 6.6	▲ 6.9	1.3
沖縄県	82.3	75.6	63.4	56.8	45.0	47.5	▲ 6.4	▲ 8.1	▲ 16.1	▲ 10.5	▲ 20.6	5.5

注1) 2020年4月までは実績値 (都道府県 CI)、5~7月は予測 CI

注2) 2020年7月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i) 景気動向指数 (CI) は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019年 11月号

ii) 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ (気温や降水量) など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域 (九州、沖縄県、山口県) の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020年 1月号